

死亡之認 證明書

昭和 年 月 日

<p>死亡場所 葛呂米島 太平洋 北緯 15° 15' 東經 138° 15'</p>		<p>死亡年月日 昭和 20 年 6 月 18 日 5 時</p>	<p>死亡原因 戰死</p>	<p>死前之階級 兵長</p>	<p>氏名 [Redacted]</p>	<p>遺留品 認識票及印鑑</p>	<p>現狀 敵死陣、破片を愛け左足首貫通、背部首貫、左右大腿部及下腹部に重傷を負い出血甚しく現認者が認識票及び印鑑を渡り直後苦痛の現え兼い牙痛陣を自決す、死体は自ら埋葬す。</p>	<p>事由</p>
<p>不籍地 [Redacted]</p>	<p>現住所 [Redacted]</p>	<p>氏名 [Redacted]</p>	<p>職名 上等兵 戦友</p>	<p>認識票 戦車二師團重隊</p>	<p>記載の上の注意</p>	<p>記載の上の注意</p>	<p>記載の上の注意</p>	

昭和二十一年 月 日

地方世話部 死亡者 認定 票

所屬部隊名 固有姓名 独歩大士隊 隊

本籍地

年 昭 心

種 現 兵 歩

級等官 前亡地 後亡死

名 氏

死亡年月日時 昭 20. 6. 18.

死亡場所 北島ルン島ハレテ

死亡原因 戦 死

傷病名 頸部貫通銃創

現任所 本籍地ニ同シ

氏名

昭 20. 6. 18. 上 受進級

名 通所見

独歩大士隊 通信隊

印

停年名 級員

決 判	路經手ノノ料資及料資	在調定	守者當	人	水
級 部 官 證	級 部 官 證	印 檢 点	認 定 進 級 告 知 記 録		

45-1)



北島隊遺感一七一四一  
部 所 隊 遺 感 一 七 一 四 一  
北 島 隊 遺 感 一 七 一 四 一

歩 兵 隊  
上

[Redacted area]

本籍地と同じ昭26年  
北島 昭26年  
北島 昭26年  
北島 昭26年

棄 戦 死

北島 昭26年  
北島 昭26年  
北島 昭26年  
北島 昭26年

死亡の

昭和二十二年一月十五日

北島隊遺感一七一四一部隊  
部 隊

死亡者七名  
同部隊員

[Redacted area]

確認状

本籍地

部隊名

比島派遣軍威第一八四二四部隊本部

陸軍軍曹

右者昭和三年六月十九日十七時頃ルソン島カハヤン地区カ戦斗に於  
て敵陣カ為戦死セシ事ヲ確認す

昭和三年五月二十日

本籍地

現住所

右同

比島派遣軍威第一八四二四部隊本部

陸軍軍曹長

13-12

死亡者現認證明書

所屬部隊 隊固有各 第十一航空情報隊 第一三三 隊一八九六部隊

本籍地

徵召種 昭和十七年 二補 戰要長 昭和十七年 月 日

人 死年月日時刻 昭和三年六月九日 時 死場所 比島島岸島ノ木

死亡區分 戰死 腹部貫通銃創

發還病遺年日 昭和 年 月 日 留航公第522號 昭和22年9月13日

留守 現住所

遺骨遺留品の有無 十二 遺灰亦殘の有無 十二

現 所屬部隊 隊固有各 第十一航空情報隊 留航公第522號 昭和22年9月13日

官 官 級 佐 軍 次 長

上陸年月日 昭和 年 月 日

若 遺 留 品

昭和二十一年 一月 日

地方世話部 死亡者 認定査票

昭和二十一年 月 日 業務課

判 決	路 經 手 入	料 資 及 料 資	査 認 定	守 者 留 擔	入	年 果 徵	本 籍 地	所 屬 部 隊 名	固 有 名	通 稱 名	留 守 課
						昭 6	昭 6	昭 6	昭 6	昭 6	
						種 役	種 兵	種 兵	種 兵	種 兵	
						死 亡 年 月 日 時	昭 20. 6. 19.	昭 20. 6. 19.	昭 20. 6. 19.	昭 20. 6. 19.	
						死 亡 區 分	戦 傷 死	戦 傷 死	戦 傷 死	戦 傷 死	
						現 住 所	右の通り現認す	右の通り現認す	右の通り現認す	右の通り現認す	
						樹					
						父					
						氏 名					
						傷 病 名	足脛部砲弾破片創傷	足脛部砲弾破片創傷	足脛部砲弾破片創傷	足脛部砲弾破片創傷	
						死 亡 地 所	比島ルソノ島 オブツン山	比島ルソノ島 オブツン山	比島ルソノ島 オブツン山	比島ルソノ島 オブツン山	
						名 籍 所 見					
						減 血					
						シ 沿					
						停 年 名 簿 頁					
						印 檢 点					
						認 定 進 級 告 知 記 録					

野戦重砲兵隊  
先鋒隊

（受傷年月日不明）

昭和二十二年 11月 26日

(第 888 號)

民生部第一世帯課

# 死亡者調査表

昭和二十二年 十一月 三十日 調製

製調者



課長	係長	定	本	籍	隊	公	報	遺	貸	
<p>整理番號</p> <p>所屬部隊 固有番號 三四 兵病通稱 威四〇四</p> <p>留守業務局</p> <p>徵集年 三 種 豫 兵 衛 官 等 死亡時の官 上 後 伍 長</p> <p>氏名 フナガナ</p> <p>生年月日</p> <p>死亡年月日時 20年6月19日 分一甲 死亡場所 比高(カガヤン) 茨</p> <p>死亡原因 戦傷 甲 死亡理由 山傷病名 マラリヤ 熱 4月1日 20年6月3日</p> <p>死亡直前の職務</p> <p>資料入手の経緯</p> <p>右現認す</p> <p>現任所</p> <p>認所 部隊 兵病通稱</p> <p>氏名印</p> <p>職記要名者亡死</p> <p>遺骨受付 番号</p> <p>公報 番号</p>										
判	決	未歸還届	無	小第	!!!	振				

○本表中央印の欄以外は第一世帯課にて記入すること  
 ○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)  
 ○不備事項中判明しあるものは各班にて未済すること

戰死證明書

5-11

一、戰死者本籍地

戶主名 職稱 戶主

氏名

年 月 日生

二、所屬

比島 派遣 鐵 第五四七部隊

三、戰死者徵集年 在 役 兵種 兵死亡前官等 陽和二十年一月十日

四、戰死年月日時刻及場所

五、戰死現患ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戰死當時ノ状況

八、葬亡區分

九、其ノ他

十、遺族ノ現住所

十一、遺族ノ氏名

十二、證明者住所

十三、證明者住所

十四、證明者住所

十五、證明者住所

十六、證明者住所

十七、證明者住所

十八、證明者住所

十九、證明者住所

二十、證明者住所

二十一、證明者住所

二十二、證明者住所

二十三、證明者住所

二十四、證明者住所

二十五、證明者住所

二十六、證明者住所

二十七、證明者住所

二十八、證明者住所

二十九、證明者住所

三十、證明者住所

印

1276



戰死證明書

陸花村

一、戦死者本籍地

戸主名 姓 氏 名

張 剛 甲

氏名

年 月 日生

二、所属

軍種

部隊

職名

派遣先

備考

派遣先

部隊

職名

備考

三、戦死者召集年

年

役種

親役

兵種

歩兵

死亡前官等

陸軍上等

兵

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時

刻

及場所

昭和

年

月

日

時

分

秒

場所

五、戦死現認ノ程度

ノ

程度

ノ

程度

ノ

程度

ノ

程度

ノ

程度

六、遺骨歸還ノ有無

ノ

有無

ノ

有無

ノ

有無

ノ

有無

ノ

有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

ノ

状況

ノ

概要

ノ

状況

ノ

概要

ノ

状況

八、死亡区分

歿病

死

由

昭和

年

月

日

昭和

年

月

日

九、其ノ他

事項

ノ

事項

ノ

事項

ノ

事項

ノ

事項

ノ

事項

遺族ノ現住所

戦死者ノ敬稱

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

證明者住所

戦死者ノ關係

所属部隊名

兵種

歩兵

死亡前官等

陸軍上等

兵

氏名

市町村立證明所

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

陸花村

戦死証明書

一、戦死者本籍地

比 島 氏 名 親 刺 戸 主

氏 名

年 月 日 生

11-501

二、所屬

歩兵第六十三聯隊本部

比 島 派遣 鐵 第五四七部隊

三、戦死者徵集年

昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和二十年六月十九日 岩手県八幡平市

五、戦死現認ノ程度

確認 認 甲

六、遺骨歸還ノ有無

遺骨 あり

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時は昭和二十年六月十九日、敵機襲撃に遭ひ、山岳部にて戦死。戦死後、遺骨は発見され、現認甲と認められた。戦死の原因は、敵機の襲撃によるものである。

八、死亡区分

戦死 事由 不明 発病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他

（戦死者の遺族が、戦死者の遺骨を収容し、埋葬し、その旨を報告した。また、戦死者の遺族が、戦死者の遺骨を収容し、埋葬し、その旨を報告した。）

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ親 刺 氏 名

氏 名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 一 月 十一 日

証明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

歩兵第六十三聯隊本部  
兵種 歩兵 官等 陸軍 階級 中士

氏 名

市町村長證明箇所

印

127

昭和十九年六月二日

實業部航空課

第一五三二部隊

航空隊司令部

陸軍技術官

一 手籍地

一 現任所 右同

一 昇任 昭和二十年六月二日 (腹部貫通銃傷)

一 昇任 昭和二十年六月二日 (腹部貫通銃傷) 並右部等

新 歴 概 要

一 昭和十九年三月十日 陸軍航空隊司令部 陸軍技術官 昇任

一 昭和十九年六月二日 陸軍航空隊司令部 陸軍技術官 昇任

一 昭和十九年六月二日 陸軍航空隊司令部 陸軍技術官 昇任

一 昭和二十年一月一日 陸軍航空隊司令部 陸軍技術官 昇任

右 本 門 開 修 小 生 同 隊 同 班 勤 勞 員 (二二二)

7-11

2

戰天前一由前道ヲ行進スル者ニ致シ居リタル處 其後  
ガリラト云々 戰死ノ後 報ニ接シヨリテ 師報者 申之候  
直ニ申渡シタル事トシテ 遺骨ハ 遺家族ニ 傳渡シ致シ  
置候間 其後 師手配ヨリ 疾ニ 師報ヲ 申候。

報者

(元) マミラ航送ニ付 敵陸軍技術員

現住所

7-12

# 戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 水四飛行師團水九航空情報隊(比島派遣隊)八四八五部隊
- 一、徵集年 昭和十八年 役種 水三補充兵校兵種 航空通信兵
- 一、官 等(死歿前) 陸軍中尉 (死歿後) 陸軍中尉
- 一、氏 名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生
- 一、死歿場所 比島オカロス島 ハゴロト基地
- 一、死亡區分位ニ事由 左大股部及左肺ニ敵弾ヲ受テ出血多量ニ為 歿死ス
- 一、死歿年月日時 昭和二十年 六月二十日 午前九時
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

## 右確認(證明)ス

昭和二十二年 三月 十日

元所屬部隊 水九航空情報隊(比島派遣隊)八四八五部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 陸軍中尉

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ。

宛先 [Redacted]

地方世話部認定係 [Redacted]

16-13

①

戦時死亡者現認証明書

昭和二十六年六月二十日		陸軍部	
昭和二十六年六月二十日	比島	死	亡
陸軍部	現住所	事由	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体
陸軍部		現住所	遺体

現住所

陸軍部

現住所

陸軍部

現住所

調製上注意

一 所属部隊の種別・編制・固有部隊名、王判明程度を記入し、  
二 死亡理由を未詳とする詳細な事由は、傷病名及び所在地を併記し、  
三 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
四 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
五 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
六 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
七 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
八 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
九 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、  
十 遺体発見場所、発見日時、発見者等を併記し、

1282

現狀證明書

本籍地

所屬部隊 [Redacted]

官氏名

陸軍

死亡前

上野

一 没種 [Redacted] 年次 [Redacted] 二 補士兵

一 死亡年月日

昭和八年九月廿九日

一 死因

比島ルソ (タルラツリ)

一 死亡原因

昭和八年九月廿九日 没種 [Redacted] 補士兵

一 遺体所在

比島ルソ (タルラツリ)

一 遺族現存

右相違 [Redacted]

昭和 年 月 日

現住所

一三二八部隊

所屬部隊

一三二八部隊

現認者官等氏名

[Redacted]

[Redacted]

印

状況不明者の資料届

本籍地

所屬部隊固有名

建築勤務第三七中隊

通稱号

威才四八二九部隊

軍曹

昭和二十年六月二十日セブ島に於て駆逐中サニクエリにて敵の小銃弾により胸部貫通銃創にて戦死す

遺骨 不明

遺留品 エー

威才四八二九部隊

隊長





現認證明書

陸軍

一 死没者所属部隊名 第十四方面軍 威一六〇部隊

一 官 等 死亡前 陸軍一等兵

一 氏 名

一 死亡区分 我 死

一 傷痕名 爆彈破片創

一 死亡年月日 昭和二十年六月二十日午後十時

一 昭和二十年六月二十日比島十八号附近の戦場にて

於て戦死せるを確認す

右現認證明す

昭和二十一年一月三十日

現認者 威一六〇部隊

陸軍

現認證明書

地方世話部

昭和 22年3月5日	右現認證明致します		死者との関係	死亡時の状況	死者	死亡年月日時	死亡場所	死亡理由	死亡階級	死亡後階級	氏名	本籍地	所属部隊
	死者	現認	本籍	現住所	所属部隊	官等氏名	昭和20年6月20日10時0分	ミヤコ山マナタ附近	戦死	二等兵	一等兵	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	現認	本籍	現住所	所属部隊	官等氏名								
	死者	現認	本籍	現住所	所属部隊	官等氏名							
	死者	現認	本籍	現住所	所属部隊	官等氏名							

前記日時ミヤコ山マナタ附近にて輸送任務を以て行動中、部隊を力一分離したる中、敵迫近砲撃破片を以て戦死す。当時状況多岐なるため遺骨遺留等収容せず。

比陣中隊に於て工作戦中同一砲撃に於て行動せり(本人戦死前の中隊長)

1286

現職上・注意	現		者	七			死	
	官等級氏名	所属部隊名		運送遺体状況	傷病名	死亡場所	死亡区分	死亡年月日
現職上・注意	陸軍中尉	元第六八〇部隊(即ち兵隊)	現認事由 昭和二十年六月二十日 北都ルリンギヤンガニ(イアラオ)	戦死	昭和二十年六月二十日	戦死	威第〇六八〇部隊(即ち兵隊)	陸軍中尉
現職上・注意	陸軍中尉	元第六八〇部隊(即ち兵隊)	現認事由 昭和二十年六月二十日 北都ルリンギヤンガニ(イアラオ)	戦死	昭和二十年六月二十日	戦死	威第〇六八〇部隊(即ち兵隊)	陸軍中尉



昭和二十二年 月 日 第 号

# 死亡者調査表

昭和二十二年 6月 11日 製  
製

整理番	所屬部隊	徴集年	本籍地	留守現住所	死亡年月日時	死亡區分	死亡直前の職務	資料入手の経路	及現住所	見所	制	決
	固有名称	9年 役			昭和二十二年 6月 20日	戦死		山崎 九郎	右現無	現住所	官階	未歸還届
		種 兵			時 分		遺骨遺留品の状況					無
		官 兵										有
		死亡時の官										
		年並に發令										
		ト 死										
		後 死										
		氏 名										
		生年月日										
		年 月 日										
		公報番										
		原番										
		報告										
		製										

○本表中※印の欄以外は世帯部にて記入すること

○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年 月 日生

78-11

二、所属

三、戦死者敬称

四、戦死年月日時刻及場所

五、戦死現況

六、遺骨歸還の有無

七、戦死當時の状況

八、死亡区分

九、其の他

十、遺族の現在所

戦死者の戸籍

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和ニニ年

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

兵種

氏名

市町村長證明簡印

印

七

二十二年十月廿五日

戰死證明書

一、戰死者本籍地

手交 姓 乙

[Redacted]

戸主名 職柄 戸主

氏名

[Redacted]

年 月 日生

122-10

二、所屬部隊名

第 七 十 部 隊

派遣 第三 部隊

三、戰死者徵集年

和 三 年 役種 兵種 兵 死亡前官等 陸軍 年 月 日 陽和 年 月 日

四、戰死年月日時及場所

和 三 年 六 月 三 十 日 此 館 三 分 木 力 女 一 州 中

五、戰死現認ノ程度

他 言 ( 認 不 可 能 )

六、遺骨歸還ノ有無

ナシ

七、戰死者時ノ状況ノ概要

戦 斗 中

八、死亡區分

戦 死 事由 胸 部 受 弾 發 病 年 月 日 陽和 年 月 日

九、其ノ他

( 詳 略 ) 申 立 書 ナ レ ば 上 記 年 月 日 及 上 記 地 所

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戦死者ノ親柄 身主

氏名

[Redacted]

右ノ通り戦死セラレタルニトテ證明候也

昭和 三 年 三 月 三 日

證明者住所

[Redacted]

戦死者ノ關係

所屬部隊名 比 島 派 遣 第 三 〇 二 〇 部 隊

兵種 衛生 官等 陸軍 伍 長

氏名

[Redacted]

印

市町村長證明箇所

右相意 右之ニ證明す

昭和 三 年 三 月 十 四 日

[Redacted]

戰死證明書

一、戰死者本籍地

[Redacted]

北江(印)

戶主名經稱 戶主

氏名

[Redacted]

年 月 日生

126-11

二、所屬團有師

北江師團 第三〇四部隊

派遣 約 第三〇四部隊

三、戰死者徵集年 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時 分 於 山 中

五、戰死現認ノ程度 推定(當時ノ状況ノ上ニ於テ)

六、遺骨歸還ノ有無 有

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

當時、折損被弾、了休ノ感体アリ

八、死亡區分 戰死 事由 傷 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上條ニ於テ死亡者ニ對シテ、別ニ立テ、部隊長等ニ對シテ、) 申立書ヲ提出シ、上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戰死者ノ經稱

氏名

[Redacted]

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

[Redacted]

戰死者ノ關係

所屬部隊名

北江師團 第三〇四部隊 兵種 步兵 官等 陸軍 中

氏名

[Redacted]

印

市町村長證明箇所

右證明

[Redacted]

1291



右 將領 諸將 諸將 諸將 諸將	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領
將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領	將 領

諸將領一隊... 諸將領一隊...

諸將領一隊... 諸將領一隊...

諸將領一隊... 諸將領一隊...

諸將領一隊... 諸將領一隊...

諸將領一隊... 諸將領一隊...



死亡現認(確認)證明書

本籍地

所屬部隊番号  
昭和三十年六月二十日

一 死亡年月日時 昭和三十年六月二十日

一 死亡場所 呂宋島之三謙北方エントルバ

一 死亡区分 戦死

一 傷(病)名 腹部銃弾破片刺

一 遺骨(遺物)の有無

一 死亡當時の状況

一 本方面前進中敵軍一集中砲火を受け戦死

右現認(確認)中

昭和三十年一月二十日

現認者  
百重前線  
百重前線  
百重前線

本籍地

死亡現狀(確切)證明書

新居部隊

一 死亡年月日時

昭和二十年六月二十日 時 分

一 死亡場所

青森県三戸郡三戸町東北才七ツルハシ

一 死亡原因

一 傷(病)名 胸部連弾破片刺

一 遺留(遺)物

一 死亡當時状況

入隊後、前線中、半車、集弾中、砲火ヲ受テ戦死

右現狀(確切)寸

昭和二十年一月二十日



新居部隊長 佐野 清太郎 少佐

新居部隊 佐野 清太郎 少佐